

[illegible]

講義名	8010000200 ウィメンズヘルスケア						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

學習目標(到達目標)

1. 女性の性と生殖に関する基本概念について述べることができる。
2. ライフサイクル各期の女性の健康問題と支援について述べることができる。
3. ライフサイクル各期の女性の性と生殖に関わる支援方法について述べることができる。
4. 生活環境が母子に与える影響がわかり健康を維持増進するための支援を説明できる。
5. ウィメンズヘルスケアに関わる専門職との連携について説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の概念や助産活動の基本及び妊産褥婦と胎児や新生児に関する知識を身に付けている。

評価方法

筆記試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

- | | | | |
|---------|--------|-----------|-----------|
| 1. 医学書院 | 助産学講座2 | 基礎助産学[2] | 母子の基礎科学 |
| 2. 医学書院 | 助産学講座4 | 基礎助産学[4] | 母子の心理・社会学 |
| 3. 医学書院 | 助産学講座5 | 助産診断・技術学Ⅰ | |

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

リプロダクティブヘルス/ライツの視点から、ライフサイクル各期にある身体的・心理的特徴を理解し、健康支援のあり方について学ぶ。また、特別に支援を要する健康問題やセクシュアリティに関する健康と課題について学ぶ。ウイメンズヘルスケアに関わる専門職との連携について学ぶ。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	8010000300 母子の心理・社会学						
年度	2026	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

學習目標(到達目標)

1. 女性のライフサイクルと心理・社会的課題について説明できる。
2. 家族支援の基礎となる母性や父性の発達や家族関係の発達について説明できる。
3. 家族形態や家族関係の変化について説明できる。
4. 現代の子どもがおかれている社会的状況について説明できる。

授業概要(教育目的)

母性・父性の概念と変遷、妊娠婦・胎児・新生児の心理、母子関係・父子関係の形成を学ぶ。また、家族形態や家族関係の発達・変化や子育て支援について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の概念や助産活動の基本及び妊産褥婦と胎児や新生児に関する知識を身に付けている。

評価方法

定期試験とレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況)等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 医学書院 助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学
2. 医学書院 助産学講座2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

[illegible]

講義名	8010000600 健康教育技法						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

学習目標 (到達目標)

- 1.助産師による相談・教育の対象と特徴について説明できる。
- 2.相談・教育する上で基盤となる理論について説明できる。
- 3.相談・教育活動の基本がわかり、健康教育の内容・方法・評価について説明できる。
- 4.個別指導・集団指導のアプローチについて説明できる。
- 5.両親学級・母親学級の計画立案と実施・評価ができる。
- 6.マタニティビクス・マタニティヨガについての計画立案ができる。
- 7.未就学児および思春期の健康教育について実施・評価ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況)等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

- 1.医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ
- 2.医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ〔妊娠期〕
- 3.医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔分娩期・産褥期〕
- 4.医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ〔新生児期・乳幼児期〕

資格との関連

本科目は、別科助産専攻の必修科目となっている。

実務との関連

授業概要 (教育目的)

健康教育を行う基礎知識を理解し、健康教育に必要な指導・相談活動について学ぶ。また、集団指導の企画・運営・評価について学ぶ。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表			
	内容	予習	復習
1	健康教育理論：健康信念モデル、ブリスードーブリスードモデルなど 相談・教育の対象理解 理論的基盤：問題解決プロセス、女性と家族セルフケア理論、エンパワメント	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
2	個別相談の方法：アプローチの特徴と指導場面 受胎調節の意義と目的	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
3	個別相談の方法：アプローチの特徴と指導場面 受胎調節の意義と目的	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
4	相談技術の基本・実際・教育技術の基本 健康教育の実際、企画書、計画書：目的・内容・方法・評価	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
5	産褥期退院指導と沐浴指導の計画書作成：目的・内容・方法・評価	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
6	産褥期退院指導と沐浴指導の発表①	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
7	思春期健康教育の実際(県立高校での健康教育見学)	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
8	産褥期退院指導と沐浴指導の発表②	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
9	産褥期退院指導と沐浴指導の振り返り	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
10	思春期の健康教育・未就学児への健康教育オリエンテーション	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
11	女子高校生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座①企画書・指導案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
12	女子高校生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座②企画書・指導案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
13	女子高校生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座③企画書・指導案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
14	女子高校生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座④発表練習・発表	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
15	女子高校生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座⑤発表練習・発表	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
16	女子高校生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座⑥修正	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。
17	女子高校生アスリート向け健康講座・未就学児向け健康講座⑦修正	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まとめたものを発表しあい、学びを共有できるように復習をしていくこと。

講義名	8010000700 プレコンセプションケア						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

學習目標(到達目標)

1. プレコンセプションケアの概念と必要性について説明できる。
2. プレコンセプションケアにおける助産師の役割について説明できる。

授業概要(教育目的)

プレコンセプションケアの概念や妊娠前の身体的・心理的変化を理解し、プレコンセプションケアの必要性や助産師が関わるケアの実践について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

課題は評価しコメントをつけて返却する。次回の授業でフィードバックし他の学生と学びを共有する。

参考文献

講義時使用テキスト

1.医学書院 助産学講座1 基礎助産学[1]助産学概論

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	8010001000 助産診断学Ⅲ（産婦のケア）						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	藤邊 祐子		

学習目標（到達目標）

- 1.分娩経過の診断、アセスメントの内容について述べるができる。
- 2.分娩経過、母体の状況から分娩所要時間の算出ができる。
- 3.母体の分娩各期のアセスメントについて述べるができる。
- 4.胎児の健康状態のアセスメントについて述べるができる。
- 5.分娩介助の意義と原理をふまえ、分娩介助技術の要点を述べることができる。
- 6.出生直後の新生児のアセスメントについて述べるができる。
- 7.正常分娩の各期の産婦と家族をアセスメントし、ケアプランが立案できる。
- 8.異常経過にある産婦と家族をアセスメントし、ケアプランを立案できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

技術試験を含む定期試験とレポート課題で評価する。

講義時使用テキスト

- 1.医学書院 助産学講座2 基礎助産学[2]母子の基礎科学
- 2.医学書院 助産学講座3 基礎助産学[3]母子の健康科学
- 3.医学書院 助産学講座4 基礎助産学[4]母子の心理社会科学
- 4.医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ
- 5.医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期
- 6.医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期
- 7.医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期
- 8.医学書院 実践マタニティ診断 第5版
- 9.医学書院 標準産科婦人科学 第5版
- 10.メディカ出版 THE分娩 生理学・助産診断・分娩介助のすべて
- 11.インターメディア 助産技術アドバンス

資格との関連

助産師国家試験受験に必須の科目である

実務との関連

助産師として医療機関等に勤務。実務経験をもとに助産診断学Ⅲに関する講義・演習を行う。

授業概要（教育目的）

身体的・精神的・社会的な3つの側面からの産婦と胎児の状態を把握し経過を助産診断するための知識・技術と、安全・安楽で産婦が満足できる分娩を導くために必要なケアを学ぶ。
分娩期の診断・援助能力を修得できるよう、講義に加え、産婦事例を用いて分娩期の助産過程を展開する。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントで返却する。

参考文献

- 1.医学書院 日本助産診断実践学会編集 マタニティ診断ハンドブック
- 2.医学書院 WHO推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア

学生へのメッセージ

助産師教育での分娩直接介助について学ぶため、予習・復習をして臨んでください。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション「分娩経過に必要な基礎的知識」分娩とは、分娩の3要素、分娩が母体・胎児に及ぼす影響	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
2	「分娩期のフィジカルアセスメント①」産婦の健康診査、分娩開始の予測と徴候、破水の診断、分娩期の経過診断	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
3	「分娩期のフィジカルアセスメント②」胎児の健康状態のアセスメント、胎児付属物のアセスメント	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
4	「分娩期のフィジカルアセスメント③」母体の健康状態のアセスメント、分娩期の心理・社会的変化	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
5	「産婦の支援の基本①」対象をみる視点、ケアの背景となる基本的知識	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
6	「産婦の支援の基本②」分娩経過に沿ったケア	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
7	「産婦の支援の基本③」分娩経過に沿ったケア	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
8	「分娩経過の診断および診察法」分娩時の胎児心拍数モニタリングの読み方と対応	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
9	「分娩期の異常・偶発疾患」分娩の3要素、分娩に伴う損傷・偶発疾患	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
10	「ハイリスク・異常分娩時のアセスメントと支援」「ハイリスク・異常分娩時のアセスメント、ハイリスク・異常分娩時の産婦への支援	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
11	産科手術及び産科的医療処置 分娩時の救急処置	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
12	「出生直後の新生児のアセスメントとケア」①出生前に行う新生児の状態の予測と準備、出生直後の胎外適応状態の評価と支援②異常の早期発見と支援	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
13	「分娩直接介助の実践と産婦ケア」 ゲストティーチャー	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
14	技術演習「分娩経過の診断および診察法」①入院の必要性の判断および診察法	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
15	技術演習「分娩経過の診断および診察法」②陣痛測定とその評価、分娩時の胎児モニタリングの読み方と対応	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
16	「分娩介助の原理と介助技術」①	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
17	「分娩介助の原理と介助技術」②	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。

[illegible]

講義名	8010001300 周産期救急とケア						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 聡太		

學習目標(到達目標)

- 1.産科救急の特性を説明できる。
- 2.異常を判断する上での超音波診断の基本技術およびCTGの判読ができる。
- 3.異常分娩時の対応を説明できる。
- 4.出生直後の児の状態評価と蘇生について説明できる。
- 5.新生児の蘇生法の基本がわかる。

授業概要(教育目的)

周産期ハイリスクおよび分娩時における異常・救急時の診断と対応、妊産婦・新生児への援助について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1.メジカルビュー | プリンシパル産婦人科2 産科編 |
| 2.メジカルビュー
デキスト | 日本救急蘇生ガイドライン 第4版新生児蘇生法 |
| 3.メディカ出版 | 胎児心拍数モニタリング講座 |
| 4.メディカ出版 | 周産期超音波のしかた |
| 5.メディカ出版 | 母体急変時の初期対応 |

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	8010001400 地域母子保健Ⅰ（概論）						
年度	2026	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

學習目標(到達目標)

1. 地域母子保健の概念や地域母子保健行政について説明できる。
2. 地域母子保健の現状と動向を説明できる。
3. 青森県の母子保健の現状と課題を説明できる。

授業概要(教育目的)

地域母子保健の概念や母子保健の現状や動向、地域母子保健行政の仕組みや制度・施策について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

住民の多様なニーズに対応した母子保健サービスを提供するための知識を身に付けている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

課題はコメントをして返却する。次回の授業時全体にフィードバックし
学びを共有する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 医学書院 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健
2. 日本看護協会出版会 新版・助産業務要覧Ⅰ 基礎編
3. 日本看護協会出版会 新版・助産業務要覧Ⅱ 実践編

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	8010001600 助産管理Ⅰ（概論）						
年度	2026	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

學習目標(到達目標)

1. 助産管理の基本概念について説明できる。
2. 助産管理のプロセスについて説明できる。
3. 助産業務に必要な関係法規や医療制度について説明できる。
4. 助産管理における助産師の義務と責任について理解を深める。

授業概要(教育目的)

助産管理の概念と助産業務に必要な関係法規や医療制度について学ぶ。助産管理に必要な助産師の義務と責任について学び自覚を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産業務の管理と助産所の運営の基本及び周産期医療システム等の知識を身に付けている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

課題はコメントをつけて返却して次の授業時に全体にフィードバックし学びを共有する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 医学書院 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健
2. 日本看護協会出版会 新版・助産業務要覧Ⅰ 基礎編
3. 日本看護協会出版会 新版・助産業務要覧Ⅱ 実践編
4. 日本看護協会出版会 新版・助産業務要覧Ⅲ アドバンス編

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	8010001900 臨地実習Ⅱ（分娩期・産褥期）						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	藤邊 祐子		

學習目標(到達目標)

- 1.産婦を診察し、分娩経過および胎児をアセスメントし、分娩経過を予測するためのことができる。
- 2.産婦が安全・安楽に分娩できるための家族を含めての援助を実践できる。
- 3.出産直後の新生児のケアを実施できる。
- 4.褥瘡・新生児の助産過程を展開できる。
- 5.母子保健医療チームの一員として、多職種や地域との連携を考えて行動できる。

授業概要(教育目的)

産婦(胎児含む)の健康診査と助産診断・産婦ケアと分娩介助を実践する能力、および褥婦・新生児の助産診断と援助を実践する能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

到達目標を元に作成した評価表に沿って、実習記録・実習中の行動等により評価する。

課題に対するフィードバック

- ・事前課題(予習)、実習記録、事後課題(レポート等)については、実習中や実習後のまとめカンファレンスの中でフィードバックを行う。
- ・成績評価は自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個別にフィードバックする。

参考文献

講義・演習で使用したテキスト、参考文献、資料に準ずる。

講義時使用テキスト

「助産診断学Ⅰ～Ⅴ」等で講義・演習で使用したテキスト、参考文献、資料に準ずる。

資格との関連

助産師国家試験受験のための必修科目である。

実務との関連

助産師として総合病院等に勤務。臨床経験をもとに受け持ち患者の看護について理解が深まるように助言する。

学生へのメッセージ

積極的に主体的に学習すること。

授業計画表

[illegible]

講義名	8010002000 臨地実習Ⅲ（ハイリスク事例）						
年度	2026	開講時期	前期	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	藤邊 祐子		

學習目標(到達目標)

1. 高いリスクを抱えた妊産婦を受け持ち、助産過程を展開できる。
2. 妊産婦のメンタルヘルスを考慮し、必要な援助を行うことができる。
3. 助産実践に必要な倫理的配慮を考え行動できる。
4. 母子保健医療チームの一員として、多職種や地域との連携を考えて行動できる。

授業概要(教育目的)

ハイリスク妊産婦(胎児を含む)に対し、指導者の助言を受けながら健康状態・経過をアセスメントし、適切な援助を実践する能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

到達目標を元に作成した評価表に沿って、実習記録・実習中の行動等により評価する。

課題に対するフィードバック

- ・事前課題(予習)、実習記録、事後課題(レポート等)については、実習中や実習後のまとめカンファレンスの中でフィードバックを行う。
- ・成績評価は、先に自己評価を行い、良かった点と今後の課題について個別にフィードバックを行う。

参考文献

講義・演習で使用したテキスト、参考文献、資料に準ずる。

講義時使用テキスト

「助産診断学Ⅰ～Ⅴ」等で講義・演習で使ったテキスト、参考文献、資料に準ずる。

資格との関連

助産師国家試験受験のための必修科目である。

実務との関連

助産師として総合病院等に勤務。臨床経験をもとに受け持ち患者の看護について理解が深まるように助言する。

学生へのメッセージ

講義と演習を基本に、日々の学習を継続して実習に臨んでください。

授業計画表

[illegible]

講義名	8010002100 臨地実習Ⅳ（助産管理・地域母子保健）						
年度	2026	開講時期	後期	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	藤邊 祐子		

學習目標(到達目標)

1. 周産期母子医療センターにおける助産管理の実際を理解できる。
2. 助産院における助産管理の実際を理解できる。
3. NICUに入院した児の管理、および産科病棟との連携、その後の地域との連携について理解できる。
4. 乳幼児健診を通し、乳幼児のアセスメントについて理解し、必要な援助を考えることができる。
5. 助産実践における倫理的課題について理解できる。
6. 母子保健医療チーム、多職種や地域との連携について考えることができる。

授業概要(教育目的)

施設や助産院における助産管理、地域母子保健活動を見学および参加し、助産管理、地域母子保健活動のあり方について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

住民の多様なニーズに対応した母子保健サービスを提供するための知識を身に付けている。
助産業務の管理と助産所の運営の基本及び周産期医療システム等の知識を身に付けている。

評価方法

到達目標を元に作成した評価表に沿って、実習記録・実習中の行動等により評価する。

課題に対するフィードバック

- ・事前課題(予習)、実習記録、事後課題(レポート等)については、実習中や、実習後のまとめカンファレンスの中でフィードバックを行う。
- ・成績評価は、先に自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個別にフィードバックを行う。

参考文献

講義・演習で使ったテキスト、参考書、資料に準ずる。

講義時使用テキスト

講義・演習で使ったテキスト、参考書、資料に準ずる。

資格との関連

助産師国家試験受験のための必修科目である。

学生へのメッセージ

積極的に主体的に学習すること。

実務との関連

[illegible]

講義名	8010002200 助産学研究						
年度	2026	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員	高橋 雪子		

學習目標(到達目標)

1. 助産学研究の意義を説明できる
2. 研究のプロセスを説明できる。
3. 適切な文献を収集し、文献検討ができる。
4. 研究計画書を立案し、研究を進めることができる。
5. 研究論文と抄録を作成し、研究発表をすることができる。

授業概要(教育目的)

助産学研究の目的・意義を理解し、論文クリティークや研究過程を学ぶことで助産学を追求する姿勢を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の概念や助産活動の基本及び妊産褥婦と胎児や新生児に関する知識を身に付けている。

評価方法

課題レポート、プレゼンテーション資料、助産学研究論文提出により総合的に評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題レポートや研究計画書等は、コメントして返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 日本看護協会出版会 看護における研究 第2版

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]